

「環境報告ガイドライン2007年版」対応の記載事項一覧

| 環境報告書の記載事項等に関する告示 | 環境報告ガイドライン2007年版 | 本報告書の記載箇所 |
|------------------------------------|--|---|
| [1] 事業活動に係る環境配慮の方針等 (告示第2の1) | [1] 基本的項目 BI-1 経営責任者の緒言 | p.1 |
| | [2] 環境マネジメント等の環境経営に関する状況 MP-1 環境マネジメントの状況 (MP-1-1 事業活動における環境配慮の方針) | p.12 |
| [2] 主要な事業内容、対象とする事業年度等 (告示第2の2) | [1] 基本的項目 BI-2 報告に当たっての基本的要件 | p.2 |
| | BI-3 事業の概況 (経営指標を含む) | p.3 |
| [3] 事業活動に係る環境配慮の計画 (告示第2の3) | [1] 基本的項目 BI-4 環境報告の概要 | p.4～11 |
| | (BI-4-2 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括) | |
| [4] 事業活動に係る環境配慮の取組の体制等 (告示第2の4) | [2] 環境マネジメント等の環境経営に関する状況 MP-1 環境マネジメントの状況 | p.13 |
| | (MP-1-2 環境マネジメントシステムの状況) | |
| [5] 事業活動に係る環境配慮の取組の状況等 (告示第2の5) | [2] 環境マネジメント等の環境経営に関する情報 MP-6 グリーン購入・調達 | p.39 |
| | MP-8 環境に配慮した輸送に関する状況 | - |
| [6] 製品・サービス等に係る環境配慮の情報 (告示第2の6) | [3] 事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況 | p.16～45 |
| | OP-1 総エネルギー投入量及びその低減対策 | |
| | OP-2 総物質投入量及びその低減対策 | |
| | OP-3 水資源投入量及びその低減対策 | |
| | OP-4 事業エリア内で循環的利用を行っている物質等 | |
| | OP-5 総製品生産量又は総商品販売量 | |
| | OP-6 温室効果ガスの排出量及びその低減対策 | |
| | OP-7 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策 | |
| | OP-8 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策 | |
| | OP-9 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策 | |
| | OP-10 総排水量等及びその低減対策 | |
| [7] その他 (告示第2の7) | [2] 環境マネジメント等の環境経営に関する状況 MP-2 環境に関する規制の遵守状況 | p.20, 24, 28 |
| | MP-10 環境コミュニケーションの状況 | p.18～19, 22～23, 27, 30～31, 34～37, 42～45 |
| 事業者の創意工夫により充実が望まれる項目 | [1] 基本的項目 BI-5 事業活動のマテリアルバランス | p.7, 10～11 |
| | [2] 環境マネジメント等の環境経営に関する情報 MP-3 環境会計情報 | - |
| | MP-4 環境に配慮した投融資の状況 | - |
| | MP-5 サプライチェーンマネジメント等の状況 | p.38～39 |
| | MP-7 環境に配慮した新技術、DfE等の研究開発の状況 | p.24～26 |
| | MP-9 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況 | p.16～19, 35～37, 40 |
| | MP-11 環境に関する社会貢献活動の状況 | p.42～45 |
| | [4] 環境配慮と経営との関連状況 | - |
| | [5] 社会的取組の状況 | p.17～19, 23, 27, 30～37, 42～43 |

UR都市機構の環境配慮50年の歩み

UR都市機構は、昭和30年代から現在まで50年余にわたり、都市環境・居住環境の整備において、先導的な特色ある環境配慮の取組を行ってきました。ここでは、各時代の取組をテーマごとに整理してご紹介します。

| | 昭和30年～〈1955～1964〉 | 昭和40年～〈1965～1974〉 | 昭和50年～〈1975～1984〉 | 昭和60年～〈1985～1994〉 | 平成7年～〈1995～2004〉 | 平成17年～〈2005～〉 |
|----------------|--|---|---|---|--|---|
| | 280万戸の住宅不足を解消するため日本住宅公団が設立され、DKなど新しい時代の住生活を提案してきました。 | 高度経済成長による大都市への人口集中に対応すべく、ニュータウン開発をはじめ、大量の住宅供給を支える技術開発に取り組んできました。 | 石油ショックによる省エネルギーの推進や、多様化する住まい方に応える質の高い居住環境の整備など、量から質への転換に対応してきました。 | バブル経済の崩壊という社会情勢の変化と並行して、住宅主体の開発から、様々な都市施設を備えた複合的なまちづくりへと重点を移行してきました。 | 阪神・淡路大震災の復興への支援をはじめ、密集市街地の改善や工場跡地の土地利用転換など、都市基盤の再整備に取り組んできました。 | 政府の掲げる都市再生の取組を推進し、人が輝く都市を目指して、美しく安全で快適なまちをプロデュースします。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ●日本住宅公団設立 (S30) ・大規模団地 (多摩平団地) 竣工 (S33) ・量産試験場開設 (S38) | <ul style="list-style-type: none"> ●地域振興整備公団設立 (S49) ・多摩ニュータウン着工 (S41) ・全国统一標準設計 (S42) | <ul style="list-style-type: none"> ●宅地開発公団設立 (S50) ・標準設計の廃止 (S53) | <ul style="list-style-type: none"> ●住宅・都市整備公団設立 (S56) ・初の公団賃貸住宅建替事業に着手 (小杉御殿・臨港第二団地) (S61) | <ul style="list-style-type: none"> ●都市基盤整備公団設立 (H11) ●UR都市機構設立 (H16) | |
| 都市の自然環境の保全・再生 | 新しい居住環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・日照を重視した住棟の南面平行配置 (S30年代) ・団地内のオープンスペース・プレイロットの連結による歩行者空間の充実 (S30年代) 樹木の利活用 <ul style="list-style-type: none"> ・自然地形と現況林を保存した団地整備 (S34/御影団地) 雨水の流出抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・調整池の整備 (S35/ 東久留米団地) 基盤施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・汚水処理施設開発・建設 (S31) | 都市の骨格としての環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・歩車分離、日本初の歩行者専用道路 (S44/ 東久留米団地) ・緑の保全と利用を結合したグリーンマトリックス計画 (S48/ 港北 NT) 土地の有効利用と安全性の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・浸透工法の採用 (S40/ 国立富士見台) ・洪水時だけ水がたまる低床花壇 (S41 あやめ台団地) | 生物生息空間の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・生物保護区を指定した公園整備 (S57/ 港北 NT 鴨池公園) | 緑化技術の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・植栽が育ちやすい土壌改良 (S63) | <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンバンクシステムの本格実施 (H8) | 環境共生型まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・環境共生住宅認定 (H15/ ハートアイランド新田) ・地域資源を活かした環境共生型まちづくり (H15/ 坪井、H17/ 葛城地区) ・地域生態系に配慮したシミュレーション技術の開発 (H19) |
| まちや住まいの省エネルギー化 | 大量供給への対応 <ul style="list-style-type: none"> 設計基準の確立 生産工法の開発 ・ティルトアップ工法の採用 (S33) | | エネルギーの効率的利用 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ焼却排熱利用の地域冷暖房 (S51/ 森之宮、S58 品川八潮) ・屋根外断熱本防水工法 (S52) ・住棟太陽熱利用給湯システム (S59/ 鳴海第3) | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒートポンプと排熱利用のコンパクトエネルギーシステム (S62/ アーバニア千代田) ・コージェネレーションシステムの導入 (H2/パレール川崎) ・河川水利用給湯システム (H3大川端リバーシティ) | <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電集中連携システム (H9/いわきNT) ・ピークアラーム機能付分電盤 (H12) ・次世代省エネルギー基準の導入 (H15) ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム (H16/ アーベインなんばウエスト) ・潜熱回収型給湯暖房機 (H16/ ハートアイランド新田) | まちや住まいの省エネルギー <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂ヒートポンプ式給湯機 (H19/ヴァンガードタワー) ・「家庭の省エネ講座」の開催 (H19/町田山崎団地) ・街区全体をCO₂20%削減する住宅計画の民間事業者誘導 (H18/越谷レイクタウン) ・電動自転車シェアリング (H20/彩都) ・街区全体でCO₂70%削減を義務付けた「低炭素モデル街区」による民間住宅事業者誘導 (H22/港北ニュータウン) ・UR賃貸住宅の大規模な環境配慮の取組 (共用部照明LED化、エコジョーズの取替え、緑のカーテンの推進) 発表 (H22) |
| 資源の有効利用と廃棄物の削減 | | 土地の有効利用 <ul style="list-style-type: none"> ・真空集塵システム (S49) 基盤施設の広域化 <ul style="list-style-type: none"> ・広域専用水道システムとの連携化 (S40年代) | | 資源の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート塊の再利用 (H4/ 相模大野) ・伐採樹木によるチップ舗装 (H4/飯能南台) | <ul style="list-style-type: none"> ・生ゴミコンポスト (H11/ サンヴァリエ桜堤) ・リサイクル発泡三層塩ビ管 (H13/グリーンプラザひばりが丘南) ・分別解体 (H13/三鷹台) ・超節水型便器 (H13/フレール西経堂) ・KSI住宅 (H14/ シティコート目黒) ・ディスパーザー (H14/アクティ三軒茶屋) | 建築副産物の再利用 <ul style="list-style-type: none"> ・再生コンクリートを利用した集会所 (H17/ 牟礼団地) ・住棟単位での改修技術の開発「ルネッサンス計画」 (H19/ひばりが丘団地) |
| 安全・安心と快適性 | 新しい住宅様式の提案 <ul style="list-style-type: none"> ・食寝分離 (DKスタイル) の提案 (S30) ・就寝分離 (個室) の提案 (S30) ・1DK住宅の供給 (S32/ 武蔵野緑町) 共用施設の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・プレイロット・児童遊戯施設の整備 (S30年代) ・集会所 (S31/ 光ヶ丘) ・団地ファニチャーへのアーティスト登用 (S33/ 東鳩ヶ谷) ・テニスコートの整備 (S34/ ひばりヶ丘) | <ul style="list-style-type: none"> ・共同菜園 (S46/ 小川団地) ・親子ペア住宅 (S47) ・ホーロー浴槽 (S47) | 多様な住宅メニュー <ul style="list-style-type: none"> ・タウンハウス (S50) ・バリアフリー住宅 (S54) ・ニューモデル中層住宅 (S56) ・全電化住宅 (S58) ・システムキッチン (S59) | 快適な住宅の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・シニア住宅 (H2) ・デザインガイドライン (H3/ 幕張) ・パブリックアート (H6/ ファーレ立川、H8/ 新宿アイランド) | まちや住まいの安全・安心と快適性 <ul style="list-style-type: none"> ・震災復興まちづくり (H7) ・ユーマイク住宅 (H7/ アバンドーネ原5番街) ・常時小風量換気システム (H8/ シーリアお台場) ・階段室型共同住宅 EV・高齢者仕様 EV (H12) ・スーパー防犯灯 (H15) ・シックハウス対策最高等級仕様 (H16) | <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全まちづくり協議会 (H17/ 流山新市街地) |
| 環境に配慮したライフスタイル | | 市民参加 <ul style="list-style-type: none"> ・自然林復元の市民運動「どんぐり作戦」 (S47/ 高蔵寺 NT) | 市民協働 <ul style="list-style-type: none"> ・コーポラティブ住宅 (S53) ・市民参加型公園計画 (S57/ 港北 NT) | <ul style="list-style-type: none"> ・自然保護団体との協働によるカタクリ移植 (S60/ 多摩 NT 長池公園) ・小学生参加のワークショップによる公園づくり (H6/ 仰木) | コミュニティ形成の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・緑のワークショップ (H8/ 武蔵野緑町パークタウン) ・コミュニティアート (H10/ 南芦屋浜) ・NPO フュージョン長池とネーチャーセンター (H11/ 多摩 NT) ・黒川はるひ野 グリーンネットワーク活動 (H14/ 黒川) | <ul style="list-style-type: none"> ・市民緑地制度を活用した街山づくり (H17/ おゆみ野) ・UR賃貸住宅フォト&スケッチコンテスト開催 (H20) |